

情報公開文書

研究課題名	免疫チェックポイント阻害薬既治療進行再発肺扁平上皮癌に対するネシツムマブ/シスプラチン/ゲムシタビン療法の安全性と有効性を評価するための多機関後方視研究
研究体制	<input type="checkbox"/> 長野赤十字病院が責任研究機関となる <input checked="" type="checkbox"/> 他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関： 帝京大学医学部内科学講座 )
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>腫瘍内科</u> 氏名 <u>関 順彦</u> 当 院 所属 <u>呼吸器内科</u> 氏名 <u>倉石 博</u>
研究期間	(西暦) 研究許可日 ~ 2022年 9月 30日
研究の概要	<p>(研究の目的)</p> <p>この研究の主な目的は、前治療で免疫チェックポイント阻害薬による治療が行なわれ、その後にネシツムマブ/シスプラチン/ゲムシタビン療法による治療を受けた患者さんの安全性と有効性について、診療録からデータを収集し、調査することを目的としています。</p> <p>(研究意義)</p> <p>前治療で免疫チェックポイント阻害薬が投与され、二次治療以降にネシツムマブ/シスプラチン/ゲムシタビン療法による治療を受けた患者さんの安全性と有効性について調査を行った研究は、日本及び海外でこれまで行われていません。この治療の有効性と安全性について、明らかにすることが急務です。</p> <p>(研究方法)</p> <p>診療記録から有効性と安全性に関する情報を収集いたします。この研究期間中には、研究のための検査（血液検査、CT 検査など）などはいりません。</p>
試料・情報	(試料・情報の項目) カルテデータ
研究対象者	2019年11月1日から2021年12月31日まで当院で免疫チェックポイント阻害薬が投与され、二次治療以降にネシツムマブ/シスプラチン/ゲムシタビン療法による治療を受けた患者  ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で使用いたします。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。

お問い合わせ先	<p data-bbox="480 85 730 118">〒380-8582</p> <p data-bbox="480 132 930 165">長野県長野市若里五丁目22番1号</p> <p data-bbox="480 179 679 212">長野赤十字病院</p> <p data-bbox="480 226 1070 259">所属 <u>呼吸器内科</u> 氏名 <u>倉石 博</u></p> <p data-bbox="480 324 1171 358">TEL : 026-226-4131 (代表)      FAX : 026-228-8439</p>
---------	---